

公立図書館でのXooNlpsの活用 奈良県立図書館 奈良県地域史料目録

2008年11月4日

奈良県立図書館
企画・広報戦略グループ 川畑 卓也

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは？
- 要求仕様
- XooNlps採用の経緯
- XooNlps採用事由
- データ登録
- 実装
- 今後の展開

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは？
- 要求仕様
- XooNips採用の経緯
- XooNips採用事由
- データ登録
- 実装
- 今後の展開

2

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録(トップページ)



3

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録

- 奈良県地域の史料の紹介や研究、史料を翻刻したものや影印で複製した書(誌)、それに史料の目録掲載書(誌)のデータベース
 - 「資料」ではなく、「史料」
 - 中世から近代が中心
 - 古代史は「県史」ではなく、「中央史」
 - 古代は史料に限られ、データベース化されている
 - 木簡データベース(奈文研)、大日本古文書データベース(東大史料編纂所)
- 2007年8月1日 運用開始
- データ件数 約4,000件(10月末日現在)
- 仕様を、地域(郷土)資料担当職員(=研究者)たちの要望に応えたものとして実装

4

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録(Cont'd)

(地域史料目録の目録登録対象)

奈良県地域史料目録運用規定

第4条 「地域史料目録」に登録する対象は以下の各号に該当するものとする。

- (1) 奈良県地域の史料の紹介や研究書、誌
- (2) 奈良県地域の史料を翻刻したものや影印で複製した書、誌
- (3) 奈良県地域の史料の掲載書、誌
- (4) その他管理者が必要と判断するもの

5

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録 (Cont'd)

- 翻刻(本)
 - 原本どおりに版にして再び出版すること
- 影印(本)
 - 書籍の文面を写真にとり、製版・印刷すること
- 全部ではなく、一部だけのことも
- 史料(一点もの、貴重資料)は保存の観点から、一般に出せないの
で、翻刻本や影印本は、有効

6

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録 (Cont'd)

- 論文が中心
 - 一般の研究ではなく、史料研究が中心(境界はあいまいだが)
 - CiNiiとは違う(重なる部分はあるが)
- 図書、雑誌も含まれる
- だけでなく、Webページ(研究者ページ)も含まれる
- だけでなく、講演ビデオ、講演資料、スライドなども含まれる
- コンテンツの内容が合致すれば、何でも登録対象
- 多様なアイテムタイプを扱う

7

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録 (Cont'd)

- ただし、あくまで書誌的事実のみを記述
 - 例えば、論文(史料研究)の場合
「とある論文が、とある図書・雑誌に掲載されている」という書誌的事実のみを記述したもの
- 所蔵データは入力しない(書誌+所蔵=目録?)
- (今のところ) Link Resolverは、実装していない
- (今のところ) 本文は入力しない
 - 「機関リポジトリ」ではない
 - 機関リポジトリとは、大学などの機関の知の発信と保存を目的として機関内で生産・保有する学術的資産を電子的な形態で収集、蓄積し、Web上で公開するものである。

8

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは?
- 要求仕様
- XooNips採用の経緯
- XooNips採用事由
- データ登録
- 実装
- システム構成
- 今後の展開

9

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の要求仕様

- (1) 県図書館協会地域資料研究会が、Excelで整理した目録があって、
 - 別紙資料1
 - データ件数 1,400件
- (2) これを検索できる形にしてウェブに公開し、
奈良県関係の史料の紹介や研究、翻刻、影印、目録の掲載書(誌)を一覧にした、研究に不可欠な文献史料の検索ができるデータベースとしたい。

10

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

県図書館協会地域資料研究会

- 県図書館協会の一研究機関
- 1997年設置
- 地域資料の資料利用を一般に広く促すために、資料の収集、整理、提供の方法について調査・研究し、併せてその成果を関係各機関へ提供することを目的
- この目的達成のために広報活動を活発に行い、図書館、研究機関、関係施設等、館種を超えた連携協力および情報の共有化の推進を図る
 - 異業務館との連携の試み

11

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

県図書館協会地域資料研究会 (Cont'd)

- **メンバー**
 - 地域資料を多数所蔵する大学・専門図書館、公共図書館郷土資料担当者（≒研究者）、研究所等から選出した委員によって組織（コミュニティ）
 - 委員は8名
 - 元興寺文化財研究所、天理大、帝塚山大、奈良大、奈良女子大、県立図書館情報館、香芝市民、県立民俗博物館
- **活動内容**
 - 運営委員会・研究会、講演会開催・機関紙の発行
 - 対象
 - 近世古文書関連
 - 近・現代資料（地方新聞・教育関係資料・行政文書）
 - 収蔵資料の電子化にとまなう諸問題（IT関連技術・画像DB・著作権）

12

2008.11.04 XooNlips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の要求仕様 (Cont'd)

- (3) 史料の掲載書（誌）は、研究者にしかわからないことが多いため、研究者の協力を得る。
 - 協力依頼研究者には、目録追加（未だ多くは未収録）のほか記載漏れやデータの誤りがあれば修正してもらう。
 - 研究者自らが目録を作成する。
- (4) これにより更新された目録を、担当職員による査読後、定期的にウェブに公開したい。
 - 査読による品質管理

13

2008.11.04 XooNlips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の要求仕様(Cont'd)

(5) 研究者には、目録の充実のために協力してもらうとともに、最新の「奈良県地域史料目録」を利用してもらう相互システムで構築し、一般利用者にとっても便利な「(奈良県地域史料)目録」をめざしたい。

→研究者だけでなく、一般利用者を対象にしている
研究者、地域資料研究会、一般利用者と図書館との
コミュニティ形成
=Web2.0的?

➡ Web上でどういうプラットフォームをデザインするか?(出発点)

14

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは？
- 要求仕様
- XooNips採用の経緯
- XooNips採用事由
- データ登録
- 実装
- 今後の展開

15

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNlps採用の経緯

- 実現に向けて独自開発をすることを含め、各種ソフトウェアを模索していたところ、近畿大学農学部(当時)のとある先生から、「慶應義塾大学メディアセンターでXooNlps(XooNlps-Libraryモジュール)という(地域史料目録の仕様に合致した)システムを開発中である」という話を聞き、
- 実際に慶應義塾大学メディアセンターにコンタクトを取って、訪問して話をし、当該システムを入手、空いた機械を利用して環境を構築、検証してみたところ(数百件のデータを登録)、「奈良県地域史料目録」の求める与件(広くは、めざす理念)と合致しており、利用できそうだとわかった。
 - 開発者の心(や顔)が見えることは大事(特にフリーソフトでは)

16

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNlps採用の経緯 (Cont'd)

- XOOPSを用いて、内部の情報蓄積・共有基盤としてSNSを構築した経験があった
 - SONY VAIO PCV-S720
 - Windows2000ProfessionalSP4
 - PHP 4.3.3
 - MySQL 4.0.15
 - Apache 2.0.47
 - Xoops 2.0.4

17

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

図書館システム

- RICOH LIMEDIO
 - 電子図書館オプション
 - 論文(目次情報)を登録できる
 - 図書 VOL書誌データとのリンクとして
 - 雑誌 巻号データとのリンクとして
 - 当該論文の掲載された図書(雑誌)を館が所蔵していることが前提
 - 論文単体の登録ができない(あくまで目次情報としての管理で、物理単位の管理ができない)
 - 研究者にとって使いやすい?

18

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは？
- 要求仕様
- XooNlps採用の経緯
- XooNlps採用事由
- データ登録
- 実装
- 今後の展開

19

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNips採用事由

- コンテンツの投稿機能、メタデータ付与機能、コンテンツの公開・非公開の判断機能を有しており、「研究者が直接登録」→「担当職員による査読」→「公開」という「奈良県地域史料目録」の与件に合致する

20

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNips採用事由 (Cont'd)

- メタデータ検索機能、全文検索機能のほか、インデックスツリーを利用したブラウジング機能を有し、単なる検索だけでないサービスを実現することができる

21

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNips採用事由 (Cont'd)

- 広く利用されているXOOPS(コミュニティサイト構築ソフトウェア)を基盤としており、研究者共同での目録作成のほか、将来的に研究者間でのSNSコミュニティーパッケージとしても利用することができる
 - ニュース、フォーラム
- ⇒ 地域研究支援のポータルサイト

22

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNips採用事由 (Cont'd)

- OAI-PMH形式に対応しており、国立情報学研究所、国会図書館等へのDBとしての公開が容易
 - 本文のないデータを登録できる？

23

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNlps採用事由 (Cont'd)

- 一括登録ツールの存在
 - Conciergeとかいうものがある
 - 現状Excelデータ (1,400件)

24

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNlps採用事由 (Cont'd)

- MODSを採用している ということは(当時は)関心がなかった。
 - XooNlps 標準の item Type でもよかった？
 - Library Moduleでなくてもよかった？

25

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは？
- 要求仕様
- XooNips採用の経緯
- XooNips採用事由
- データ登録
- 実装
- 今後の展開

26

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

データ登録(1)メタデータ <資料1>

- 史料名(論文名)
- 著作(者)名
- 時代 = 論文が記述対象としている時代
- 地域別(寺社名) = 論文が記述対象としている地域
- 所収書(誌)名
- 巻号
- 発行者・出版社
- 出版年
- 情報提供者

27

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

データ登録(1)メタデータ

- 史料名(論文名)
 - 著作(者)名
 - 時代
 - 地域別(寺社名)
 - 所収書(誌)名
 - 巻号
 - 発行者・出版社
 - 出版年
 - 情報提供者
- = 論文が記述対象としている時代
- = 論文が記述対象としている地域
- 個々の論文の情報
- 掲載書(誌)の情報

28

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

データ登録(2)XooNlps-Libraryとの対応

- 史料名(論文名) ⇔ タイトルータイトル
- 著作(者)名 ⇔ 著者名ー名前
- 時代 ⇔ ?
- 地域別(寺社名) ⇔ ?

- 所収書(誌)名 ⇔ 上位タイトルー名前
- 巻号 ⇔ 上位タイトルー巻・号
- 発行者・出版社 ⇔ 出版者ー名前
- 出版年 ⇔ 日付ー出版年
上位タイトルー年月次にも(巻号情報)

- 情報提供者 ⇔ ?

29

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

データ登録(3)XooNlps-Libraryとの対応

- 「時代」、「地域名(寺社名)」
 - 直接対応する項目はない
 - 当初、新たに項目「時代」「地域名(寺社名)」をつくった
 - その後、項目を増やす以外に、インデックスツリー(Public ツリー)を「時代」や「地域」で構成するという手もある と考え、
 - 「時代」を Public ツリーで構成し、「地域名(寺社名)」を注記にいれることに
 - 複数の時代にまたがるものはそれぞれのツリーに登録

30

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

データ登録(4)XooNlps-Libraryとの対応

- 「情報提供者」
 - 登録者を XooNlps (XOOPS) のシステム側でユーザとして記録するのでこれを利用

31

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

データ登録(5)一括登録

- 一括登録ツールは自作
 - Conciergeというものが用意されているが...

32

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは？
- 要求仕様
- XooNips採用の経緯
- XooNips採用事由
- データ登録
- 実装
- 今後の展開

33

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 環境（当初）

- Machine FMV-7000TX(Pentium4 1.5GHz Memory 1.5GB)
(→ PRIMERGY RX300 S3)
- OS FedoraCore release 5
 - Kernel 2.6.20-1.2316.fc5
- MySQL 5.0.27-1.fc5
- PHP 5.16-1.5
- Apache 2.2.2-1.2
- XOOPS 2.0.16a jp
- XooNips 3.24 (→3.31)
- xnarticle 1.0? (→1.31)

34

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 ユーザの定義

- 研究協力者
 - 登録ユーザ
- 査読者
 - Moderator
 - 当館担当職員(研究者)
- 利用者
 - ゲスト
 - 一般ユーザ
- 管理者
 - システム管理者

35

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 ユーザの定義(Cont'd)

(用語の定義)

奈良県地域史料目録運用規定

第2条 この規定において、「奈良県地域史料目録」(以下「地域史料目録」という。)とは、第4条に掲げる情報を以下の項による「研究協力者」「査読者」による登録・校正等を経て、「利用者」に提供するシステムをいう。

- 2 この規定において、「研究協力者」とは、「地域史料目録」にデータを登録する者をいう。
- 3 この規定において、「査読者」とは、前項において登録されたデータを精査し、一般に公開するかどうかの判断をおこなう者をいう。
- 4 この規定において、「利用者」とは、前項において公開されたデータを検索、利用する者をいう。
- 5 「研究協力者」「査読者」をあわせて「登録者」という。

36

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 ユーザの定義(Cont'd)

(地域史料目録の管理者)

奈良県地域史料目録運用規定

第3条 「地域史料目録」の管理者(以下「管理者」という。)は、奈良県立図書館情報館長とする。

- 2 「地域史料目録」の管理者は、第2条に定める「研究協力者」「査読者」「利用者」それぞれに対し、それぞれの必要に応じて「地域史料目録」の機能を利用させ、または利用を制限することができる。

37

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 ユーザの定義(Cont'd)

(研究協力者)

奈良県地域史料目録運用規定

第5条 「研究協力者」は、「奈良県図書館協会地域資料研究会」の「運営委員」の推薦をもとに「管理者」が任命する。

- 2 推薦には、様式1の書面により、推薦状を付与するものとする。
- 3 第1項において、任命を受けた者は、様式2の書面により「管理者」に対して利用資格の申請を行ない利用許可を得るとともに「地域史料目録」で使用するユーザ名の認証を受けなければならない。
- 4 「研究協力者」は「管理者」から前項に定めるユーザ名の交付をうけて、「地域史料目録」のフォーラム機能を利用することができる。

38

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 ユーザの定義(Cont'd)

(査読者)

奈良県地域史料目録運用規定

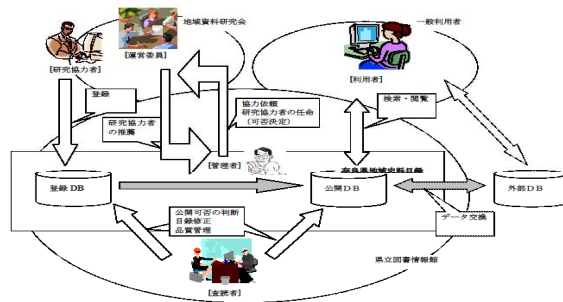
第6条 「査読者」は、県立図書館情報館の地域研究支援の担当職員から、「管理者」が指定する。

39

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 概念図



40

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 画面構成 (利用者)



41

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 画面構成（利用者）

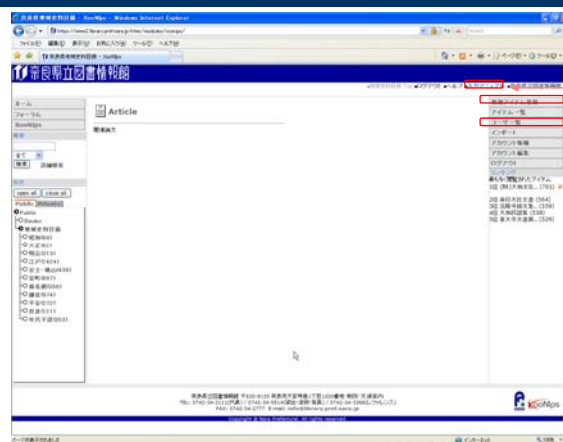


42

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 画面構成（研究協力者）

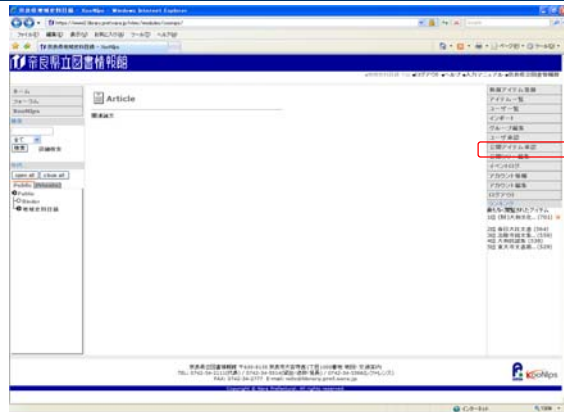


43

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 画面構成（査読者）



44

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 画面構成（査読者）



45

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

実装 画面構成（管理者）



46

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の現在

- 運用規定類の整備（2007.8.1）
 - 奈良県地域史料目録運用規定
- 登録マニュアルの作成（2007.8.1）
 - 研究協力者には、アカウントとともに配布
 - 地域史料目録Web上にPDFでおいてもいるが...
 - それでも、登録時に、Binderに入れる人、publicそのものにチェックを入れる人、地域史料目録そのものにチェックを入れる人が....

47

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の現在 (Cont'd)

- 「奈良県地域史料目録」を、地域資料研究会から譲り受け、県立図書館情報館のウェブページに公開 (2007.8.1)
- 目録の充実
 - 県図書館協会地域資料研究会の協力を得て、目録データの充実をはかる。
 - 具体的には、同研究会運営委員および研究者により「奈良県地域史料目録」の充実をはかり、研究者の協力で継続的に情報を追加していく。
- データの公開
 - 当館地域研究支援担当が、各研究者が登録したデータの査読をおこない、データの品質を管理し、準備の整ったデータから順次公開し、利用者サービスに供する。

48

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の現在 (Cont'd)

- 研究協力者: 27名
 - 大学、研究所関係者(教授、助教、学生(院生))
 - 文系が中心だが、理系も
 - 奈良の大学、研究所に限らない
 - 企業の研究所の研究者
 - 一般の研究者(どこにも属さない)
 - 研究協力者の名前、所属は、中(ログイン後)では公開する。
 - ユーザ情報の編集も自由、書いたら公開
- データ件数: 1,555件 (2007.7.18) → 4,000件 (2008.10.末現在)
 - 一括登録分 + 職員の練習分 + 公開後の日々追加分
- アイテムアクセス件数: 1,500 ~ 2,500件 / 日

49

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の現在 (Cont'd)

- 登録講習会の開催 (地域資料研究会の一事業)
 - 研究協力者の参加
 - 登録練習、意見交換 (研究協力者どうしも)
 - 「研究所は一般の人たちに開放されていないことが多く、公開は公共図書館である図書館の役割である。」
 - 「論文は図書館で調査・研究をして作成したもので、図書館に寄贈するのは当然ではないか。」
 - よく利用されている (図書館が一種のサロン)
 - 大学との関係は？
 - 図書館が、大学や組織を (少し) 離れて、研究する「場」
 - 普段いる組織から独立して、自分を磨く「場」

50

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

奈良県地域史料目録の現在 (Cont'd)

- メタデータ登録に加え、研究者から直接論文抜刷や所収雑誌を寄贈される流れに
 - 登録資料は県立図書館が所蔵 (コレクション) することに
 - 論文本体がないと査読できない。(査読者としては)
 - 地域史料目録には登録対象にはしない論文、雑誌も
 - 地域史料目録への所蔵データの登録の必要がなくなった
 - LIMEDIOへも目次情報として登録する作業ラインの構築へ

51

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

Contents

- 「奈良県地域史料目録」とは？
- 要求仕様
- XooNips採用の経緯
- XooNips採用事由
- データ登録
- 実装
- 今後の展開

52

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

今後の展開

- 地域研究支援のポータルサイトに
 - 「地域研究支援」 県立図書館の機能の1つ
 - CMS、SNSとしての機能追加(研究者デスクトップ)
 - 「論文抜刷DB」を構築
 - 著者ごとのブラウジングツリー
 - 重くて使いものにならない
- 各都道府県の地域史料の目録作成、公開のプロトタイプに
 - 県立レベルの仕事
- メタデータの交換(OAI-PMH)
 - 国会PORTAとは、話があるが...
 - 他府県の地域史料の目録をハーベストして別のサービスとして見せたり ...
- 当館OPAC所蔵情報へのリンク作成(OpenURL対応)
- 本文の登録?(今のところ目立った要望はない)

53

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

地域史料目録サービスの本当の意義

- 「図書館員だけが図書館サービスを提供する主体である」
「図書館員だけが目録を作成する主体である」
というWeb1.0的発想から
「図書館員だけが目録を作成する主体である」
というWeb2.0的発想への転換
 - 奈良県立図書館の理念
 - 自立(律)したユーザのコラボレーション
 - 「地域史料目録」のコンテンツも、図書館の構成員がつくった知、生産物
- 公開するデータを適切にコントロールしつつ、ユーザを信頼し、共に歩むというサービス像への転換とその覚悟とが求められている
=XooNlpsの利用

54

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNlpsへの要望(1)

- 研究協力者(研究者)のユーザ管理は、図書館の利用者カードで一元化したい
 - 図書館の理念からいくと、奈良県地域史料目録の研究協力者のユーザは図書館のユーザなので、1つにしたい。
 - 利用者それぞれの図書館への参画のレベルにいろいろあるだけ
 - SSOというよりも...
 - XOOOPSにLDAPを扱うmoduleはなさそう?
 - Xoops Cube Legacy に対応するのか、それとも Xoops 本家でいくのか?

55

2008.11.04 XooNlps Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNipsへの要望(2)

- 検索結果を保持しない？
 - 詳細画面から、再度検索結果の一覧画面にもどりたいたときに不便

56

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

XooNipsへの要望(3)

- 運用マニュアルの充実
 - ログの落ち方がわからない？
 - 研究協力者から、「新規登録時、途中でハングって登録できなかった。」というとき
 - 対応ログレベルの制御がよくわからない。
 - Apacheのログには何も落ちていない
 - Child processが暴走している

57

2008.11.04 XooNips Workshop

(C) 2008 Nara Prefectural Library & Information Center

IR(機関リポジトリ)って?

- IR
 - Internet Registry
 - Information Retrieval
 - Institutional Repository
 - 機関リポジトリとは、大学などの機関の知の発信と保存を目的として機関内で生産・保有する学術的資産を電子的な形態で収集、蓄積し、Web上で公開するものである。